

令和4年度 第2回 二宮町環境審議会会議録

日 時：令和4年8月1日（月） 午前9時30分～11時30分
場 所：二宮町役場3階 議会第1委員会室
出席者：室田会長/梁井委員/井上委員/片岡委員/土谷委員/坂本委員
事務局：宮嶋都市部長/安藤生活環境課長/山下環境政策班長/岩本主事補
委託事業者1名

1. 開会

生活環境課長：本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。

定刻となりましたので、これより令和4年度第2回二宮町環境審議会を始めさせていただきます。

本日の審議会は、前回と同様に、新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的として、リモートと対面のハイブリッド方式による開催とさせていただきますので、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

なお、本日4名の委員が欠席しておりますが、半数以上の出席をいただいておりますので、会議は成立していることをご報告させていただきます。

2. あいさつ

会 長：おはようございます。暑い日が続いていることに加え、コロナ感染症もまん延しておりますので、なかなか気が休まらない所ですが、本日は今年度第2回ということで、皆様お忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。本日初めてご参加される方もいらっしゃいますが、皆様ご忌憚のないご意見をよろしくお願いいたします。

3. 議題

(1) 次期環境基本計画の検討について

『資料1：令和4年度第1回環境審議会に対する委員意見に関わる今後の町対応について』

『資料2：3つのトコトンにのみやプロジェクト』

『資料3：計画の体系案に基づく、町の取組（施策・事業）案』

『資料4：第3次二宮町環境基本計画（骨子案）』

について事務局より説明

【審議結果】

- ・資料3の13ページ、「地産地消を促進」について、「農作物の郵送」を「農作物の輸送」に変更する。
- ・資料3の7ページ、「高齢者のごみ出し支援の推進」の内容に、町のおたすけネットなどの内容を記載するなど、実施していることをよりPRをしていく。
- ・資料3の22ページ、「自治会組織の支援」は「地区や地域組織の支援」とし、地域組織の後ろにかっこ書きで名称等を示す。

- ・資料3の22ページ、「手を取り合い、大きな輪となって豊かな環境をつかみとろう」の部分は、実施計画を作成する際に、具体的な行動の内容を記載する。
- ・文章中に記載の二宮町の形状や地区の位置づけに関しては、他の計画等を確認し、表現を統一する。
- ・資料4の5ページ2行目の「北部以南」に関しては、表現を変更する。
- ・資料4の30ページの現状と課題の並べ方を整理し、分かりやすく記載する。
- ・SDGsは令和12年までの目標なので、次の目標と次期環境基本計画の整合がとれるよう、見直しをする。

【質問・意見等】

- 委員：資料3の13ページの「地産地消を促進」について、「農作物の郵送」とありますが、運搬に表現を変更した方が良いのではないのでしょうか。
- 事務局：こちらは誤字を修正し、「輸送」という表現に変更させて頂きたいと思います。
- 委員：同じく「地産地消を促進」ですが、「朝市やイベントを通して、地元で採れた食材の購入を促進します」とありますが、この購入というのは、誰が購入するのでしょうか。あるいは購入ではなく、PRという表現をした方が分かりやすいのではないのでしょうか。
- 会長：地産地消なので、地元の方が購入されるということではないのでしょうか。
- 委員：地元の方でしたら表現はそのままでお願いします。
- 委員：自助・共助・公助ですが、公助と自助を入れ替えることは可能でしょうか。
- 事務局：防災に関しましては、まずは自助からということで、自助を初めに記載させていただいております。
- 委員：資料4の30ページの現状と課題の並べ方ですが、良いこと、悪いこと、小さいこと、大きいことなど、全ての内容が混在しているので、もう少し整理して載せることができると良いと思います。
- 例えば、良好な大気環境が維持されていると記載しているすぐ後ろに、野焼きの苦情が多い等の内容が入っているため、もう少し分かりやすくしていただきたいと思います。
- 会長：現状と課題の文字の色を変えるなど、工夫して記載いただけると良いのではないのでしょうか。
- 事務局：こちらは整理をして、改めてお見せできればと思います。
- 委員：資料3の7ページの「高齢者のごみ出し支援の推進」で、「地域住民等でごみ出し支援の協力関係が築けるような体制等について検討していきます」とありますが、町社協では、おたすけネットという仕組みがあります。そこで登録された方が必要な時にごみ出しをお願いすると、支援してもらえる仕組みです。確かに地域では隣同士で助け合っているお宅もありますが、そういったコミュニケーションがとれていないお宅は、町のおたすけネットという制度があるので、町でもこの制度を支援することも計画に位置づけていっても良いと思います。今の書き方ですと抽象的なので、やっていることをもっとPRする必要があるのではないのでしょうか。
- また、9ページの「大気環境の保全」に「町に寄せられる大気に関する苦情の多

くが野焼きによるもの」とありますが、住宅地など密集しているような場所でバーベキューをやると、煙とにおいが迷惑になってくる場合があります。特に近所同士のお付き合いがない場合は、より近隣トラブルに繋がるので、もう少し具体的な方針を記載した方が良いと思います。

事務局：こちらの環境基本計画は大本の計画となりますので、細かな表現はしないで、バーベキューなどは野焼きという言葉で一括りとして掲載しております。なお、野焼きに関する細かなことは広報紙に掲載し、啓発を行っております。あくまでも環境基本計画は大本の計画となりますので、野焼きという表現で記載させていただければと思います。

会長：海岸でのバーベキューの規制はないのでしょうか。

事務局：バーベキュー行為に規制はございませんが、バーベキューが迷惑だと思われる方からの苦情はあります。

委員：役場までは声が届かないかもしれないですが、住宅地域から苦情は寄せられています。

事務局：畑を所有されている方が枝などを燃やしていることや、薪ストーブの煙の臭いがつく等の苦情もございしますが、こちらは規制できるものではございません。いただいた苦情に対しては現状を確認し、場合によっては、行為の中止をお願いすることもあります。こういったことも含めて、ここでは野焼きと一括りにしております。

なお、実施計画に記載する際は、もう少し内容を具体的にお示しできればと思います。

委員：チラシや広報紙は表現が難しいですが、野焼きなどの問題に触れていくことが必要だと思います。

なので、環境審議会で出した意見は、町の行政ができる範囲でやってもらいたいと感じます。

事務局：ありがとうございます。

委員：13ページの「自転車利用を促進」についてです。二宮町は平坦が多いですが、百合が丘の方面は山坂があります。そのため自転車での上り下りが非常に困難だと感じます。その中で最近、電動アシスト付き自転車がはやり始めました。電動アシスト付き自転車は、便利で免許も必要ないので、普及啓発のために、町民への補助等の支援を行う必要があると感じます。

事務局：購入支援も利用促進の手法と考えておりますが、個人に対して補助を出すことは、町レベルですと難しい部分もあります。

3年前から広域で、鎌倉から二宮までの海岸線をシェアサイクルできる事業を始めております。二宮町には今年になってシェアサイクルを設置し、使用されている方もいらっしゃいます。実験的にやっておりますが、今後政策として進めていくことを考えております。

委員：シェアサイクルの利用者は、観光目的の方も多いと思います。そのため、CO₂削減には直接的に繋がらないと思います。

会長：政策面からするとエコカー減税なども個人の購入に対する補助だったので、自転車も問題ないのではないのでしょうか。

事務局：エコカーを購入できない方には恩恵がない等の問題が挙がっており、進めることが難しい状況です。

- 事務局：公共交通の利用と、自転車等の促進のバランスを考えながら施策を考えていきたいと思っておりますので、是非ご意見をいただければと思います。
- 委員：10年の計画なので、今現在は実現していないことも目標として計画に盛り込むことはできないのでしょうか。
- 会長：それでしたら、電動アシスト付き自転車等も検討していくと記載する形にしてはいかがでしょうか。
- 事務局：実施計画は5年ごとの計画となっており、国の補助制度も数年後に変わるのではないかと考えております。そのため、記載内容に関しましては、今後実施計画を策定していく中で、改めてご相談させていただければと思います。
- 委員：15ページの3Rのリユースについてですが、百合が丘の子ども食堂を実施している団体が、0円ショップを開き、不要なものを無償で提供しています。衣類をイメージする方も多いと思いますが、野菜や米なども提供していて、地域で大盛況となっています。なので、やり方を工夫すれば、一般の方も何かできるのではないかと考えております。
- また、22ページの「自治会組織の支援」ですが、自治会ではなく地区長ではないでしょうか。
- 委員：地域によっては地区長の位置づけ等が異なる場合もあるので、記載の仕方も重要だと思います。
- 委員：自治会の部分を地区長に変えると、地区長は組織を持っていないので、表現は少し変える必要があると思います。
- 事務局：地域のことをまとめて自治会としてしまいました。地域によって地区長の位置づけ等も異なることから、表現は変更させていただきます。
- 事務局：今回は、名称を自治会組織と断定してしまったため、「地区や地域組織の支援」という表現に変更させていただければと考えております。
- また、先ほど委員からお話いただいたように、地域でごみ出し支援を行っている場所もありますので、こういった地域の活動を支援し、色々な地区に広げていきたいと思っております。そのため、表現は、地区長のことも地域住民同士の取組も拾えるよう、地区と地域組織を並列させていただければと思います。
- 委員：地域の後ろにかっこ書きで、自治会、町内会、地区等と記載するのはいかがでしょうか。地域組織ですと、町内の環境団体も含まれてしまうような気がします。
- 事務局：地域組織には公園愛護会も入ってきます。そういうものを含めるためには、地域組織という表現が適切ではないかと考えております。
- 会長：自治会の組織と運営は規定がないのでしょうか。
- 事務局：特にございません。
- 会長：妥協案として、かっこ書きで名称を記載していく形が分かりやすいのではないのでしょうか。
- 委員：私も誤解を生まないように、地域組織の後ろにかっこ書きを入れる方が良いと思います。
- 委員：同じく22ページの「手を取り合い、大きな輪となって豊かな環境をつかみとろう」についてですが、エコフェスタなど、環境に関する団体のみの記載となっているため、他の組織が入れる余地を残すべきではないでしょうか。

特に適応策の話になると、防災の団体とも連携するため、記載をした方が良いと思います。

- 委員：たくさんの人を巻き込む必要があるため、防災関係も必要だと思います。
- 委員：防災関係はあくまでも災害時に特化した組織なので、環境問題の組織に取り込むことに違和感があります。気候変動の大きな意味で考えれば当てはまるかもしれませんが、私たち災害時の地区本部の構成員で考えるべき内容ではないと思います。
- 委員：災害から逃れるためにはどうしたらいいかを考えていただく方は、防災ボランティアの方なのではないかと考えておりますが、防災ボランティアの方だけではなく、地球温暖化防止に向けた普及啓発では、ハザードマップの読み方も行っております。
- 委員：近年、熱中症の搬送者数が増えています。このことは、ボランティアスタッフを含め全員に知ってもらい、考えていただく必要があります。災害があってから動くのではなく、その前に動けるように考えることが重要だと思います。
- 委員：今回は環境問題に全く取り組んでいなかった方を巻き込んでいく事を重視していると思うので、重点事業もトコトン等の文言を使用していると思います。
なので、どうしたら自分事として捉えてもらえるのかが問題になると思います。
- 会長：実施計画の下に行動計画はないのでしょうか。
- 事務局：行動計画につきましては、作成しません。
- 事務局：地球温暖化問題の認知がだんだんと高まってきております。事務局といたしましても、今後、町民の皆さんに自分事として取り組んでいただけるかを考えているところです。実施計画を作成する際に、より具体的な行動の内容をお示しさせていただきますので、皆様のご意見をいただければと思います。
- 委員：環境基本計画に大枠としてどこまで記載していくかが難しいと思いますが、よろしくをお願いします。
- 委員：資料4の二宮町の形についてですが、5ページでは南北に長いとなっていて、15ページではおおよそ三角形となっています。また、二宮町を北部南部と区切って表現していますが、あまり使わない表現だと思いました。それぞれの感覚の問題ですが、皆さんいかがでしょうか。
- 会長：二宮町では一般的に使われている表現なのでしょうか。
- 事務局：5ページの地勢に関しましては、様々な計画に記載させていただいている表現となっておりますが、担当課によって捉え方が異なっている状況です。
現在総合計画につきましても改定中ですので、こちらに合わせていきたいと思えます。
また、地区の位置づけに関しましては、都市計画マスタープランで、北部・西部・東部・中部の4区分となっておりますので、表現を合わせていくか、百合が丘地区などの具体的な表現にしていくかは、事務局で検討させていただきます。
- 委員：気象庁では二宮町を神奈川県東部と表現しています。
- 委員：県西なのか湘南地域なのか、議論が分かれるところだと思います。
- 会長：同じく5ページの2行目に北部以南とありますが、この表現だと地域全てが含まれることとなるため、「北部を除いて」等の表現になると思います。または「中山

間地域を除いて開発が進み」という表現でもよいかと思えます。

事務局：文言等を修正させていただきたいと思えます。

委員：11 ページの経営耕地総面積で、令和 2 年は面積が増えているのですが、これは何か理由があるのでしょうか。

委員：農業従事者としては、経営耕地総面積は減っているとは思わないですが、こちらの表は 5 年おきのグラフとなっているため、細かい理由は分かりません。

事務局：こちらの表に関しましては、農業センサスからのデータなので、詳しい内容につきましては、わかりかねます。

会長：SDGs は令和 12 年までの目標ですが、次期環境基本計画は令和 14 年までの計画なので、時点修正などを行うのでしょうか。

事務局：計画の途中で、計画改定という形で進めさせていただきたいと思えます。

4. 閉会

事務局：本日は長時間にわたりご審議いただき、ありがとうございました。
これもちまして、本日の環境審議会を閉会とさせていただきます。
ありがとうございました。